

第42回 全国豊かな海づくり大会 北海道大会 表彰団体功績概要・作品集

- 表彰団体功績概要
- 作文コンクール入賞作品
- 絵画コンクール入賞作品
- 習字コンクール入賞作品



第42回全国豊かな海づくり大会 北海道大会

● 表彰団体功績概要・作品集

守りぬく 光輝く 豊かな海



令和5年9月17日

豊かな海づくり大会推進委員会
第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会

地球を守るためにできること

北海道函館豊学校六年

三上 みかみ

ゆづ希

私が函館でお気に入りの場所は、温泉で有名な湯の川の海岸です。毎日学校に行き帰りに電車から眺める景色は最高で、天気の良い日は遠くに青森県が見えます。そんなお気に入りの場所について私から提案があります。それは、「地球を守るために自分ができていることを何でもやってみる」ということです。

去年、私たちの学級では、ボランティア活動として、「海のクリーンアップ大作戦」に参加しました。お年寄りから小さな子どもまで百人ぐらいの人たちが集まり、みんなで湯の川の海岸のゴミ拾いをしました。そこで、私はひどい光景を見ました。ゴミがあたり一面に散らばっていたのです。特に多かったのがプラスチックゴミやたばこの吸い殻でした。「なぜ、ゴミをここに捨てるんだろ。海の生き物がかわいそうだし、きれいな景色が汚されるなんていやだなあ。」と

思いました。

そこで、地球を守るために二つ提案したいことがあります。一つ目は、「プラスチックをなるべく使わない」ということです。なぜなら、日本は一人あたりのプラスチックゴミの発生量が世界で二番目に多い国で、廃棄量も世界二位だからです。日本は物をあまり大事にしない国で、私たちはいつももったいないことをしているんだと感じました。これからは、プラスチック製品をなるべく使わずに生活したいと思います。例えば、プラスチックに代わる素材として、紙のストローやスプーンを使うようにします。

また、私たちは毎日給食でプラスチックのストローを使って牛乳を飲んでいますが、そこで、ストローを使わないで飲むことを栄養教諭の先生に相談したところ、「ストローを使わないで飲むのは、マナーの問題があるので小学生の時はず

トローで飲んでください。」と言われました。私は、給食の時に紙のストローを使つてはどうかと思ったのですが、それを実現するためには、誰が作るのかや費用などが問題になりそうです。

私が二つ目に提案したいことは、「ゴミをポイ捨てしない」ということです。これは、SDGsの十四番目の目標である「海の豊かさを守る」につながります。なぜなら、プラスチックゴミが大量に海に捨てられているからです。数年前、ウミガメがプラスチックを飲みこんで死んだ動画が拡散されました。このとき、プラスチックは悪いものだと言われましたが、よく考えてみると悪いのはゴミをポイ捨てる人間の方だと思います。私たちがゴミをきちんとゴミ箱に捨てることによって、豊かな海を守ることができ

るのではないのでしょうか。

最後に、私は本の読み聞かせが得意なので、ゴミのポイ捨てについての本をみんなに読み聞かせたいと思っています。

す。学校の図書室で「ポリ袋一枚捨てた」という本を見付けました。この本は、アフリカに住む主人公が、大量に捨てられたポリ袋をリサイクルして財布やバッグにすることで、村のゴミを少しずつ減らすことに成功したという話です。このような本が読み聞かせすることで、みんなが環境問題について興味を持つことにつながるかもしれません。

私のお母さんは、高校生の時に「世界子ども水フォーラム」に参加して、水や川にかかわる自然環境を復元・再生するために子どもが行うべきことを全国の高生と議論したそうです。もう十五年前のことですが、お母さんのグループが提案したことは「自分たちだからこそできることを増やす」ということでした。これは今の私の考えと同じです。お母さんから偶然受け継いだこの考えを、私の子どもや孫たちにもつなげていきたいです。

